

# まつうら 市議会だより

3月  
定例会

第76号

令和8年5月1日

編集・発行  
市議会だより編集委員会  
電話 (0956) 72-0264

令和7年度一般会計補正予算9億3532万4千円減を可決  
決算見込みによる調整のほか、生涯学習センター施設整備事業  
が計上されました。

新たに議会がスタートしました。

改選後、初めての松浦市議会定例会が行われました。

令和8年度松浦市一般会計当初予算は214億1200万円（前年度当初予算比6.7%増）です。



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

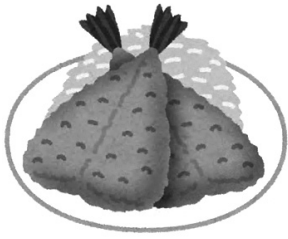
# 令和8年 3月定例会

令和8年3月定例会を、3月6日(金)から3月24日(火)までの19日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正などの条例8件、令和7年度各会計補正予算12件、令和8年度各会計当初予算14件、計画の策定1件、同意案1件、議員提出議案1件の合計37議案が上程され、いずれも原案のとおり可決、同意いたしました。

また、2つの特別委員会を設置いたしました(構成については10ページに掲載)。

(※議案等の審議結果については11ページから掲載)



# 会期日程

3月  
6日(金) 本会議

▽会期の決定

▽会議録署名議員の指名

▽議長報告

▽市長の施政方針

▽市長提出案件の上程・説明  
・質疑・主管委員会付託

▽陳情の受理報告

7日(土)・8日(日) 休会

9日(月)～12日(木) 本会議

▽一般質問

12日(木)・13日(金) 委員会

14日(土)・15日(日) 休会

16日(月) 委員会

17日(火) 本会議

▽主管委員会付託案件の審査  
報告・採決

17日(火)～19日(木) 委員会

20日(金)～23日(月) 休会

24日(火) 本会議

▽主管委員会付託案件の審査  
報告・採決

▽市長提出案件の追加上程・  
説明・審議

▽特別委員会の設置・付託

▽議員提出案件の上程・説明  
・審議

# 一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内(答弁と関連質問を含む)としています。

今定例会では、3月9日～12日の4日間で13人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館



↑  
会議録はこちらからもご覧になれます。(3月定例会の会議録は6月定例会前に公開予定)

# 議会はインターネット中継でも

ご覧いただけます。

次の定例市議会は

6月です。

松浦市公式ホームページで生放送します。パソコン、スマートフォンなどで視聴が可能です。また、ホームページでは録画映像の視聴もできます。

松浦市公式ホームページアドレス  
<https://www.city-matsura.jp/>



↑  
録画映像はこちらからもご覧いただけます。

お問い合わせは  
議会事務局へどうぞ  
TEL(0956)72-1111

一般質問



川下 議員

○児童生徒の健康を守る熱中症対策と学校における給水環境の整備について

**質** 地球温暖化で夏場の猛暑が常態化する中、子どもたちが持参する水筒だけでは容量や保冷の限界がある。熱中症予防の観点から、噴水タイプではなく水筒を置いて注ぐタイプの給水装置を市内全小中学校に設置することが必要と考えるが、給水環境をどのように認識をされているか伺います。

**教育長** 空調設備により教室の室温を管理しており、児童生徒の健康観察、適切な水分補給の指示、適度な休息などに配慮し、児童生徒自らの体調を把握するための保健指導も行っていきます。必要に応じ、学校の安全な水道水で水筒への補充を行っている状況で、給水スポットの整備については、今後検討したいと考えています。

**質** 全小中学校への給水スポット設置を検討すべきだと考えますが見解を伺います。

**市長** 子どもたちの熱中症対策としての給水スポットの導入については、衛生管理や設置に係る維持管理等の課題があるため、今後、近隣自治体

の事例を研究し、導入の可能性について前向きに検討していきたいと考えています。

○緊急避妊薬の市内提供体制の確保と若年層への支援について

**質** 本年2月2日から薬局で緊急避妊薬の販売が可能となったが、2月20日時点で市内には販売店がない。この問題で最も苦しみ孤立するのは、未成年の子どもたちである。若年層への支援や提供体制確保の重要性についてどのようにお考えか伺います。

**子育て・こども課長** 緊急避妊薬の使用については、未成年者が望まない妊娠を未然に防ぐことで未来を守る手段であり、市内における提供体制の確保は必要であると考えています。現在、市内での緊急避妊薬取扱店はありますが、一部の薬局では、県の薬剤師会を通じて登録申請がされており、今後、市内での取扱店の登録、公表がされる見通しです。

**質** 教育現場において、命の教育とセットとして、緊急的な回避方法をしつかりと伝えていただきたいと思いますが見解を伺います。

**学校教育課長** 中学生までの性教育を含めた命の教育の指導内容に、万が一の緊急的な避妊方法の指導は含まれておらず、小中学校の教育での告知は難しいが、必要があれば、個別の指導や相談ができるため、配慮要件に留意し指導することが考えられます。

の事例を研究し、導入の可能性について前向きに検討していきたいと考えています。

一般質問



神田 議員

○アジフライの聖地松浦の更なる知名度アップと世界進出について

**質** アジフライ聖地宣言後のふるさと納税額の推移について伺います。

**文化観光課長** 令和元年度9億5839万円、2年度9億5696万円、3年度11億2182万円、4年度12億7277万円、5年度11億6772万円、6年度14億4902万円、7年度の見込みが18億5千万円となっています。

**質** アジフライ聖地宣言後にすばらしい効果が出ているが、今後の戦略をどのように描かれているか伺います。

**市長** 今後も福岡都市圏を中心とし、関東・関西で活躍されている松浦アジフライ大使、松浦アジフライ実況レポーターと連携しながら、メディアとのタイアップによるプロモーションを強化し、更なる認知度向上に取り組みます。また、イタリア人の松浦アジフライ大使と連携し、EUをはじめとした海外展開を図り、国内で旺盛なインバウンド需要を取り込んでいきます。「アジフライの聖地」の更なる認知度向上の取り組みによって、本市の他の産品や歴史・文化の魅力を認知してもらおうこ

とで、観光誘客の促進と、ふるさと納税を通じた物産振興など、本市の更なる活性化を図っていきたいと考えています。

○松浦産種雄牛「真乃介」「姫晴久」を活かした和牛振興について

**質** 松浦産種雄牛の「真乃介」と「姫晴久」を活かした振興策、支援策をどのように考えているか伺います。

**市長** 子牛の能力は種雄牛の能力に限らず、母牛の能力も大きく影響することから、「真乃介」と「姫晴久」の産子が雌として生まれた場合には母牛として残ることで、次に生まれてくる子牛に好影響を与え、安定した畜産経営につながると考えています。また、「真乃介」と「姫晴久」の血を引く雌牛たちが、来年、北海道で開催される全国和牛能力共進会の主役になってほしいと願っています。

そのためには、松浦産長崎和牛産地形成推進事業において、雌牛を残したり導入したりした場合に、これまでは増頭で最大30万円、更新では最大15万円の補助でしたが、「真乃介」と「姫晴久」の産子に限っては、令和8年度から更新でも最大30万円の補助を行うよう要綱を見直ししました。このことで、本市が和牛繁殖の産地として発展し、農家の所得向上、担い手の確保につなげたいと考えています。

とで、観光誘客の促進と、ふるさと納税を通じた物産振興など、本市の更なる活性化を図ってきたいと考えています。

一般質問



福本 議員

○松浦市の第一次産業に対する振興策について

**質** 第一次産業で本市を活性化していくために、市としてどのように取り組む考えか伺います。

**農林課長** 国内外への多様な販路拡大を達成するため、県内の複数の自治体と連携し事業展開されている(一社)離島振興地方創生協会と令和7年度から委託契約を締結しました。市場価格の変動の影響を受けやすいブロッコリーの産地形成と所得向上を目指し、実証販売などに取り組んでいます。

**水産課長** 松浦産水産物を盛り上げる取り組み事例として、毎年秋に開催しているおさかなまつりや、秋から冬場にかけてのしらす&とらふぐグルメフェアなどがあります。また、トラフグ認知度向上のため、学校給食にトラフグの唐揚げの提供などの支援を行っています。

**質** 第一次産業を持続可能で稼げる産業へと転換することが、本市の将来にどのような意義を持つと考えているのか伺います。

**市長** 農業・漁業所得が向上し、稼げる産業としての魅力が高まることで、若者の新規就業や後継者の定着

が促進され、高齢化や人手不足の解消、定住人口の増加が期待されると考えています。また、農家・漁家の所得向上は地域全体に恩恵をもたらすものと考えています。

○離島の生活支援について

**質** 市として、離島(青島地区)医療の課題をどのように捉えているか伺います。

**健康ほけん課長** 青島診療所については、青洲会病院から医師の派遣を受け、毎週火曜日と金曜日の午後診療を行っています。診療提供体制や救急搬送体制の改善が課題と考えています。

**質** 離島医療の課題に対するさらに踏み込んだ対策をお考えか伺います。

**健康ほけん課長** 診療提供体制としては、ICTを活用したオンライン診療の導入を検討しており、救急搬送体制については、交通船を使用した搬送を検討しています。

**質** 地元の若者が医療職を志し、離島医療に関わる仕組みづくりが重要だと考えますが、市の見解を伺います。

**市長** 郷土を担う人材の育成を掲げ、ふるさと教育として、地域のひと・もの・ことについての体験活動など、郷土に関する学習の充実に取り組んでいるところであり、引き続き、離島医療に限らず、地域に必要な人材を確保するために取り組んでいきます。

一般質問



小川 議員

○星鹿地区の子育て環境について

**質** 星鹿小学校への特定地域選択制・特認校制の導入、星鹿地区の空き家バンクの現状、公営住宅がない問題、星鹿小学校に通わせたい、星鹿に住みたいという声には応えられていませんが、市としてどう市民の要望に応えていくのか見解を伺います。

**教育長** 本市の規模から考えて、特認校は一つと考えているため、星鹿小学校を特認校制にする考えはありません。

**市長** 空き家の活用については、先進的な取り組みを実施している自治体の事例などを参考にしながら、空き家になる前の段階で今後の活用を考えてもらえるような取り組みも検討していきたいと考えています。具体的には、先進事例等を調査する中で、空き家を活用するためにはどのような手続が必要かということから多くの方々に説明をするようなセミナーも開催されている事例もありますので、こういったことも選択肢の一つとして本市で実施できないか、検討したいと思えます。加えて、活用が難しい空き家について

は、除却支援補助金、解体をするための補助金の活用を促して、その跡地の活用を併せて進めたいと考えています。

**質** 小学校区単位では、上志佐小学校区にも公営住宅がない現状です。そういうことから、空き家に対するリフォームや解体に要する費用を周りの地区よりも少し手厚い補助をすることで、公営住宅に代わる、住める家を増やすための施策になると思っています。ぜひ公営住宅建設に近い住宅整備が今後できないか伺います。

**市長** 星鹿・上志佐地区においては公営住宅がありませんが、基本的には新しい市営住宅を建設する計画がないので、まずは令和8年度に空き家実態調査を実施し、活用可能な空き家の把握を行いたいと思えます。さらには所有者の意向を確認しながら、空き家バンクの協力事業者、空家等管理活用支援法人、まちづくり運営協議会、関係自治会と連携し、住宅としての活用を進め、市営住宅がない星鹿・上志佐地域においては、現在、市で実施している住宅に係る補助金、例えば定住奨励金、空き家バンク利活用推進事業補助金、老朽危険家屋除却支援事業補助金等の拡充を含め、住宅取得に関する支援を検討したいと考えています。

一般質問



吉岡 議員

○深刻化する地域医療の課題と今後の取り組みについて

質 松医会の要望書に対する今後の取り組みについて伺います。

市長 医療機関の新規開業・承継補助事業の創設については、既に制度化されている他市の実態を把握した上で、本市として実施できる効果的な制度設計について検討したいと考えています。松浦中央病院の常勤医師確保については、医師を派遣できる大学の講座開設に対する支援について検討しています。医師、看護師、介護職を地域に誘致するための支援については、市内医療機関における人材の安定的確保を図るため、市内の医療機関に正規職員として就職した場合に、補助金を交付する予算を今議会に計上しています。IC Tインフラを活用したオンライン診療システム、遠隔医療の拡充などの支援については、青島、飛鳥、黒島の3つの離島を視野に入れ、先進地の情報収集や県と連携しての実現を目指しています。

質 青島地区の常勤医師の必要性、募集について伺います。

健康はけん課長 令和2年11月に松浦中央病院が開設され、市内の救急

医療体制の充実が図られたこと、人口減少や患者の減少などを総合的に判断し、常勤医師を置かず、週2回の派遣医師による診療を行うこととしたため、募集はしていません。

○地域防災力の向上に向けた課題と今後の取り組みについて

質 防災アプリの登録者数を伺います。

防災課長 現在の登録者数は、2238人です。

質 防災アプリの整備、保守に要した費用を伺います。

防災課長 整備費用が572万円、保守に係る費用は令和5年度と令和6年度がそれぞれ178万2千円、令和7年度が191万700円です。

質 地域防災力向上のためにも防災アプリの活用は必要と思いますが、周知方法について伺います。

防災課長 周知方法としては、市報へのQRコードの掲載や市ホームページへの掲載のほか、転入手続き、二十歳の式、自主防災組織総会・勉強会・設立促進での地区役員会時および出前講座等において、防災アプリの登録方法などを記載したチラシの配布を行っています。

市長 あらゆる機会を捉えて、アプリの利用促進を図るとともに、高齢者に対しては、スマートフォンへの切り替えと同時に防災アプリを導入するための支援を検討したいと考えています。

一般質問



村尾 議員

○松浦市の公園の管理運営の現状について

質 公園は子どもの遊び場だけでなく、防災、健康づくり、地域交流など多様な役割を担っています。本市は、公園の管轄が複数に分かれ、それぞれでの管理になっていますが、維持管理運営の一本化は可能か伺います。

市長 管理をするに当たっては、管理の在り方ばかりが当てはまらないので、しっかりとした方針の下、それぞれの遊具、安全点検すべき箇所は同様の方針だと思います。このことから管理の統一化を図りたいと思います。現時点において、遊具管理のみを一つの部署に集めることは考えていません。

質 不老山総合公園が地滑りにより6年間利用できない状況でした。再開園後にまた地滑り等の災害が発生した場合、同じように長期間利用ができないのか伺います。

市長 今回の事象を踏まえ、長期間利用できなかったことは反省しなければいけないと思っています。現在実施中の工事がありますが、さらにこの南側にも不安定な面が残っていることが判明していますので、

同様の災害を繰り返さないための予防工事を、引き続き県に進めていただいています。

加えて、交通の安全を図るために、今回、里から登る入り口と、公園を登った上のところそれぞれゲートを設け、一定雨量が観測された場合は、そのゲートを閉めて危険な箇所には立ち入りできないよう対策を講じています。こういった対策を講じ、公園が長期にわたり利用できないということがないように努めたいと思います。

○松浦市で開催されるイベントについて

質 近年、自治体主導だけではなく、民間主体のイベントが地域振興の手段として注目されていますが、民間のイベントへの行政の支援・協力について伺います。

政策企画課長 市や教育委員会で共催、後援などを行う場合は、市報やホームページなどで、広報や情報発信を行っています。

また、民間イベントに対しての直接的な支援ではないが、民間イベントに出展される各種団体とのつながりから、補助スタッフとして参加しているものがあります。一つの事例として、松浦商工会議所青年部が開催する「まつうらこども博」において、出展される各種団体に関係する各課の職員がボランティアスタッフとして支援を行っています。

一般質問



紙本  
議員

○公共施設の公園等の管理について

質 福島体育館は、雨漏りが発生しフロアにはブルーシートが敷いてあり、天気予報が必要な体育館です。安全性・利用制限について伺います。

生涯学習課長 福島体育館の雨漏り対策として、雨水が落ちるフロアの

部分にシートを敷き雨水を受ける容器を置いて対応している状況で、利用者には大変ご不便をおかけしています。雨漏りが発生している状況での利用に際しては、指定管理者を通じて転倒などの注意喚起を行っていただきます。

質 福島体育館の改修の優先度を上げて、対応する考えがあるか伺います。

市長 福島体育館は福島地域の重要な文化・スポーツの拠点であることは十分承知しており、活用に制限があることについて、何とかしなければと思っています。

令和8年度当初予算で、応急措置のための予算を計上しており、新年度になり応急措置工事を行い、措置後の状況をしっかり把握しなければならぬと思っています。

その上で、さらに措置が必要であれば、適宜判断し対応します。

○学校給食費の無償化について

質 県内では、学校給食費の完全無償化の動きが着実に広がっている状況ですが、現在の給食費に対する本市の支援を伺います。

教育総務課長 学校給食費はこれまで

では物価高騰分を支援するかたちで給食費の値上げを据え置いています。令和7年度は給食費の値上げを行い、児童生徒の給食費に対して市独自の子育て支援策として2分の1助成を行い、保護者の負担軽減を図っています。

質 国が全国一律で給食費の無償化を実施した場合、市の財源軽減相当分は、ほかの子育て支援施策に充てることは可能か。可能な場合、何の支援に充てる考えか伺います。

市長 令和8年度の給食費、小学校分の5021万7千円は国の交付金で賄うことになり、残りの3771万7千円は市独自の対応となります。令和7年度は、給食費約8千万円のうち、半額の約4千万円を市独自で支援を行いましたので、財源軽減分については、これまで検討してきた中学校生徒への制服費の補助に充てる検討を行っています。

一般質問



立  
議員

○市内商店街の購買力向上施策について

質 市内の各域において、何代にもわたって家族経営での商売、事業を営む方がおられるからこそ、市内全域の活気が辛うじて保たれている。私たち消費者はこのことをしっかりと認識し、市内で用立てできる物品はできる限り市内で購入する配慮、公

的物購入・工事入札も充分配慮すべきである。また、年々人口減少が進み深刻さが増すと考えられ、購買力の向上が著しく低迷することが予測される。私たちが購買力向上への認識を新たにすべきと思うが、市の考えを伺います。

市長 市内で買えるものはできるだけ市内で買うことは非常に大切なことで、一人一人がこの意識を持って商店街の維持・存続につながり、市内経済の活性化が図られるものと思います。市としても、地元で買い物をすることは地域内の雇用確保、まちのにぎわい創出につながる重要な取り組みであり、その積み重ねが住み続けたいまちをつくることになると考えます。現在、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市民一人当たり1万円分のまつ

うら生活応援券を交付しています。これを活用することでお店とのつながりを持って、それを続けていくきっかけづくりになればと思っています。

○第一次産業を他自治体では見出せない特色ある産業創出について

質 近年の気候変動に順応した新たな作物、他の地域では得られない松浦市内に多く存在する土質に適した作物などを探求し、新たな成果を見出すこと、また、地球温暖化に伴う海流蛇行による漁場変化等による水揚げ魚種の変化、漁期の変化に機敏に対処することは、非常に重要な時期にきていると考えられる。大学の農水関係学部との研究共有等を踏まえて、他自治体ではほとんど目に見えない農産物、魚類の商品化を図ることが、第一次産業従事者の生活安定につながると思うが、市の考えを伺います。

農林課長 大学との連携について、現在は県立農業大学生の研修受け入れを実施していますが、研修先の農家で栽培技術等を学ぶもので、地域に合った特色ある新たな農作物を見出すための研究を行うものではないです。

市長 第一次産業は、その地域に根づいて仕事をされるため、定住につながる大切な基幹産業であります。さまざまな視点から、本市に適したものがあれば積極的に取り組んでいきたいと考えます。

一般質問



岩本 議員

○国民健康保険税の軽減について

【質】国民健康保険税が4年連続増税となり高くて支払いが大変と、切実な声を聞きます。なぜ本市は県内で国民健康保険税が高いのか伺います。

【健康ほけん課長】国民健康保険税の税率・税額の算定は、県が示す標準税率・税額を基に、本市の被保険者数や被保険者の所得総額、一人当たりの医療費水準等を用いており、令和7年度は、県平均と比較して一人当たりの医療費水準が高かったことおよび所得水準が低かったことが主な要因です。

【質】令和8年度の国民健康保険税は昨年度と同様だが、納税者の負担が大きいのには変わりません。物価高騰で暮らしが厳しい今だからこそ、国民健康保険税引き下げに国民健康保険財政調整基金を使うことはできないか伺います。

【健康ほけん課長】国民健康保険財政調整基金は、大規模災害や経済事情の変動等があった場合に活用することを想定しており、これまで、基金を繰り入れることなく財政安定化に努めており、現時点での基金活用は想定していません。

○交通弱者に対する買い物支援について

【質】身体機能が、病气やけが、加齢等で低下し、車が運転できない方や居住地域の交通の便が悪い、車の免許を持っていない等で自由に買い物に行けない方がいるが、本市では買い物先への送迎サービスや同行での買い物支援の制度があるか伺います。

【政策企画課長】御厨地域まちづくり運営協議会において、高齢者等を対象にした買い物支援事業を実施し、軽自動車購入を含む運営経費に地域協働まちづくり交付金が活用されています。

【福祉事務所長】屋外での移動が困難な障害のある方が地域生活において自立した生活と、社会参加ができるようヘルパーが付き添い、外出を支援する障害者等移動支援事業を実施しています。

【質】買い物先への送迎サービスや同行での買い物支援が必要になる方が増加すると考えるが、今後どのような展開を考えているか伺います。

【市長】移動手段のない高齢者や障害を持つ方が安心して暮らし続けるための移動支援は大変重要であり、この課題を行政サービスだけで賄うことは困難であるため、市内全小学校区単位でのまちづくり運営協議会の設立が必要不可欠で、住み続けたいまち松浦の実現に向けて市民の皆さまの協力を賜りながら、積極的に取り組んでいきます。

一般質問



志水 議員

○松浦市地域防災計画の現状と課題

ヒコシマ

【質】災害時応急生活物資の備蓄品の有効期限切れによる廃棄や更新コストが毎年どの程度発生しているのか金額を伺います。

【福祉事務所長】過去3年間の実績で、令和4年度17万9820円、令和5年度購入なし、令和6年度109万7539円、令和7年度見込み額16万8912円となっています。

【質】更新に伴う廃棄について伺います。

【福祉事務所長】消費期限が過ぎたものは廃棄処分しています。

【質】自主防災組織の設立のための支援強化と継続的育成支援制度の構築や応急生活物資の備蓄目標の明確化と計画的な更新、ロス削減の仕組み、市民が参加しやすく、実効性のある防災訓練、啓発活動の充実について数値目標や実行計画を含めてお考えを伺います。

【市長】本市の自主防災組織の設立率については、50パーセント程度で「ともだビジョン」において百パーセント達成を掲げています。資機材の充実が優先ではなく、自主防災組

織を設立し、有事に備えて「助け合おう」、「声掛けを行う」といった意識づくりを持つことが大事だと思っています。

備蓄品の廃棄ロス削減については、非常用備蓄品を社会福祉協議会が運営するフードバンクに提供し、ひとり親世帯の支援に活用した事例もあり、今後も計画的な更新と有効活用を努めていきます。

住民が気軽に防災訓練等に参加できる体制づくりについては、多くの市民が参加できるよう輸送車両などのさまざまな課題解決に向け、引き続き検討していきます。

○福島地域の課題と今後の展望について

【質】福島町にはさまざまな課題が山積しています。福島町の未来をどのように描いているのか伺います。

【市長】福島地域は、これまで培われてきた地域の強みをさらに磨き上げ、人と自然、文化が息づく持続可能な地域として発展させていくべきと考えており、多くの地域資源と人材力を最大限に生かし、交流人口の拡大と定住人口の充実を図りながら、誇りを持って暮らし続けられる地域の実現に取り組んでいきます。

このほか、「松浦市の交流人口対策の現状について」を質問しました。

一般質問



武辺 議員

○ふるさと教育の必要性とその取り組み事例について

【質】ふるさと教育は大変意義のある教育であると令和7年9月定例会で答弁がありました。その具体的な内容を伺います。

【学校教育課長】小学校では農業体験や漁業体験等を含むふるさと産業地域における福祉問題、地域の伝統文化の学習などを行い、中学校ではふるさと活性化を意識した学習に発展し、まちづくりや地域活性化のために自分たちにできることを考える学習、地域の伝統文化を継承する学習などを行っています。

【質】現存する「松浦の民話」には旧松浦市の民話のみが掲載されています。福島・鷹島地域を含めた民話の再編について、検討された内容を伺います。

【生涯学習課長】令和3年度に各区長会に出向き、民話について詳しい方の紹介を依頼しましたが、有益な情報は得られず、その後も機会を見て情報収集に努めました。今後は民話に限らず、言い伝え・伝承も含めて研究家の方々の意見を拝聴したいと考えています。

【質】再編については、今やらなければならぬと思いますが、考えを伺います。

【教育長】松浦市全体的子どもたちの心の教育やふるさと教育の充実のためにも、福島、鷹島の内容も含め、拡充できるように進めます。

○第三期松浦市子ども・子育て支援事業計画の進行管理状況について

【質】みんなの子育て広場URACCの移転場所について、また、同施設と児童館、志佐こどものいえは設置目的が類似し差別化が図られていないと思われる、これらの施設を集約した子育て支援施設が必要だと考えますが、見解を伺います。

【市長】「ともだビジョン2026」で、立地適正化計画に基づく中心市街地の活性化、官民連携による交流とにぎわいを創造する拠点整備を掲げており、子どもに関する施設の在り方について、効率的な運営を図りながら、まちなかににぎわいづくりと併せて、子育て世代のニーズに対応できる施設の整備を行いたいと考えています。私に与えていただいた4年間の任期中に実現したいので、スピード感をもって対応していきます。

一般質問



宮田 議員

○チャレンジを推進する市政のあり方について

【質】友田市長の3期目の市政運営において挑戦をどのように位置づけているか伺います。

【市長】市政運営における挑戦の位置づけについては、全国的な課題である人口減少にあらがう措置などを含め、未来のために必要な措置を講じることと考えており、将来を見据えて先例のない取り組みを行うこと、見えないものを先駆けて行うことが大切であると考えています。

【質】「ともだビジョン2026」の市民のチャレンジを応援する仕組みづくりについて伺います。

【市長】市民のまちづくりについて行政として支援をしてきたもので、既に事業が終了していますが、市政の推進に資する取り組みをする場合には市として応援する仕組みができれば、いか掲げているところで、今後、制度設計をしていかなければなりません。

○魅力発信と市民による自発的な情報発信について

【質】市民に対する情報発信をどのよ

うに取り組んでいるか伺います。

【政策企画課長】ホームページをはじめ、市報、SNSなど、さまざまな方法で情報発信を行っており、市民がより詳細な情報を取得できるようにしています。さらに、長崎新聞に有料ですが、県内で唯一、情報発信枠を確保し、市民をはじめとして県内の方々へ本市のイベント等の情報提供に努めています。

【質】「ともだビジョン2026」の中で、観光振興、和牛振興、商工業の振興、企業誘致など、本市のイメージなどが影響し得るものは多いと考えますが、市長の方針や考えの中で、個人のSNSの力をどう捉えているか伺います。

【市長】近年はさまざまな場面で、SNSの情報が拡散し、いい面、悪い面ありますが広がり知られていき、それが消費行動になり、その場所へ行ってみたくなる。そういう観点としてSNSが威力を発揮していることは十分承知をしています。SNSをこれからもっと活用し、市役所としての取り組み、課題はありますが、各課において、そして、市全体として、この取り組みが進められるように、トップリーダーとしてしっかりと進めていきたいと思っています。

一般質問



金井田 議員

○県道158号鷹島線整備の進捗状況について

質 県道158号鷹島線の整備が完了しなければ、次に控える県道整備にも支障をきたします。これは鷹島だけの問題ではなく市全体の道路戦略に関わる問題です。一本の未完了事業が次の未来を止めてはなりません。本路線の用地買収は完了しているか伺います。

建設課長 県に用地取得状況を確認しましたが進捗率は約96%で、約1700平方メートルが未取得であり、その理由は、相続人が多数であることや外国在住者がおり、現時点では用地取得の完了の見通しが立っていない状況であると伺っています。

質 完成の見通しが明確に立たない現状が、地域や市全体にどのような影響を及ぼしているとお考えか伺います。

建設課長 この県道を主に利用する鷹島町船唐津地区の住民の皆さまにとっては、現在通行している既存県道において急カーブが連続し、幅員狭小部があることから、安全な通行に影響があると考えています。また、同路線の次期改良要望箇所の事

業化にも影響があると考えています。

○松浦市内及び近郊の斎場の状況について

質 市が管理する松浦斎苑および福島斎苑が、これからも持続可能な形で整備され、時代の変化に対応できる体制として守り続けられることを心から望みます。両斎苑は単なる施設ではなく、市民が最後の「ありがとう」を伝える場所であり、行政が人の尊厳を守る場所であります。本市が「人の尊厳を最後まで守るまち」であり続けるために、行政と議会がともに知恵を出し合い、制度を整え、未来への備えを築いていくことが、次の世代に誇れる本市の姿であると、私は確信しています。

市長 両斎苑の今後の維持管理について伺います。

市長 松浦斎苑と福島斎苑の火葬場については、火葬業務に支障が出ないよう維持補修を行いながら、施設の使用継続を図ることを基本とし、その管理については、指定管理者において適正に運営が行われているものと考えています。

今後とも指定管理者や市民の皆さまからの声に耳を傾け、施設の利便性の向上に向けた施策の検討に加え、施設が延命化できるよう必要な修繕を行いながら維持管理に努めていきたいと考えています。

常任委員会の審査概要

総務建設農水委員会

〔議案第8号〕松浦市定住促進住宅条例の一部改正について

市内への転入促進を目的とした家賃の減額措置で、市外に3年以上居住されていた方が転入し定住促進住宅に入居された場合の3年間、階数に応じた家賃の減額措置をするもので、本制度が令和7年度末で期限を迎えるため、実施期間の延長を行うとともに、人材確保の観点から公務員に係る適用除外を見直し、対象に含める改正であり、妥当と認めました。

〔議案第40号〕松浦市過疎地域持続的発展計画の策定について

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、令和8年度から令和12年度までの後期計画を策定するもので、国の支援制度を活用するための計画であるとの説明がありました。計画過疎対策事業債の発行については、今回の事業計画に記載があることが要件になっているため、今計画には現時点で可能性のある事業を全て記載しているのとこのとであり、妥当と認めました。

〔議案第26号〕令和8年度松浦市一般

般会計予算（関係分）について

○本庁舎大規模改修工事4億7915万円については、本庁舎の長寿命化を図るため、耐震化、空調機器および不具合箇所の改修を行うものであり、耐震補強の工法は、SRF工法を採用し、本庁舎の柱77本を耐震補強することとした。SRF工法の特徴として、業務をしながら工事が可能で、工期の短縮が図られるとのことでした。空調改修では、空調機器の取り換え修繕、衛生設備改修では、小便秘器自動水酸化、多目的トイレのリニューアルなどトイレの改修、その他に雨漏り樋改修、手すり改修、窓の建具を一部改修するとの説明があり、妥当と認めました。

委員からは、市内の業者が受注できるようにしてほしいと要望がありました。

○防犯灯改修支援事業費補助金2230万円については、自治会が所有する防犯灯をLED灯に改修する費用に対する補助で、防犯灯のうち蛍光灯数892灯について、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、自治会への支援を行うものと説明がありました。

以上、事業実施に必要な経費であり妥当と認めました。

# 文教厚生産業委員会

## 〔議案第23号〕令和7年度松浦市工業団地造成事業特別会計補正予算（第2号）について

西部工業団地造成にかかる経費で、翌年度への繰越額9793万3千円が計上されました。繰越の理由は、開発行為申請にかかる測量設計業務等に日数を要し、年度内の完了が困難となった、また、用地費等について、対象物件の地権者、相続人との交渉に日数を要し、年度内の完了が見込めなくなつたとの説明がありました。委員からは分譲の開始時期について質問があり、令和10年度中を目指しているとの説明がありました。事業実施に必要な予算の繰越であり、妥当と認めました。

## 〔議案第26号〕令和8年度松浦市一般会計予算（関係分）について

○障害者福祉費の通学支援バスの購入費として2306万9千円が計上されました。特別支援学校用のマイクロバス2台を購入するもので、1台はリフト式で車いすが4台まで乗車できるものとのことでした。現在は、委託先が所有するマイクロバス2台を使用しているが、市で購入することで令和8年度の途中から、直営で実施するとのことでした。

○保健衛生費の保健事業費の使用料及び賃借料について、医療相談アプリに159万5千円、電子母子健康手帳アプリに30万6千円が計上されました。これは、医療相談アプリおよび電子母子健康手帳アプリの利用料で、市内の1千世帯を想定し、1世帯あたり5人までの登録が可能なものとなっております。市内に小児医療の救急病院が無いことから、夜中等に体調不良となった場合に、オンラインによる小児医療相談が可能になるもので、医師に症状を説明し、救急受診の必要性の判断や服薬可能な市販薬の紹介を受けることができ、無駄に遠方の病院へ受診する必要がなくなり、保護者の安心と医療費の削減につながるものと思われ、利用者の利便性を高めるものとなっているとの説明がありました。

以上、事業実施に必要な経費であり妥当と認めました。

## 特別委員会の構成

令和8年3月定例会において、2つの特別委員会を設置しました。各委員会の構成委員は下表のとおりです。

鷹島海底遺跡保存活用特別委員会	7人	委員長	金井田秀規
		副委員長	村尾 一樹
		委員	小川 晃弘 宮田 悟史 川下 高広 椎山 賢治 志水 周
		所管事項	鷹島海底遺跡の保存活用に関すること
西九州自動車道及び道路網整備促進特別委員会	7人	委員長	武辺 鈴枝
		副委員長	紙本 宏幸
		委員	福本 宗典 岩本 裕美 吉岡 健次 神田 稔 鈴立 靖幸
		所管事項	西九州自動車道及び幹線道路の整備促進に関すること

※常任委員会、議会運営委員会の構成については市報（3月号）、

その他、付属機関の委員については、市ホームページで確認できます。

## 2月臨時会

2月12日に臨時会を開催し、議事、議案5件、同意案8件の審議を行いました。

議案審議の結果は、次のとおりです。

- 専決処分「松浦市監査委員条例の一部改正について」・・・承認
- 専決処分「令和7年度松浦市一般会計補正予算（第6号）」・・・承認
- 専決処分「令和7年度松浦市一般会計補正予算（第7号）」・・・承認
- 「松浦市特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について」・・・可決
- 「令和7年度松浦市一般会計補正予算（第8号）」・・・可決





12月

19日◇北松北部環境組合議会臨時会  
(平戸市)

22日◇松浦鉄道自治体連絡協議会臨時総会  
(佐世保市)

1月

17日◇西九州自動車道建設促進大会  
(佐世保市)

26日◇各派代表者協議会

27日◇九州市議会議長会第4回理事  
会  
(北九州市)

30日◇全国離島振興市町村議会議長  
会第2回総会  
(Web会議)

2月

5日◇議員協議会 (1回目)

9日◇議員協議会 (2回目)

12日◇2月臨時会 (初議会)  
◇各派代表者会

17日◇長崎県後期高齢者医療広域連  
合議会議会運営委員会・定例  
会  
(長崎市)

18日◇長崎県離島振興市町村議会  
議長会定期総会  
(長崎市)

3月

6日◇24日  
◇3月定例会

11日◇議会運営委員会

18日◇全員協議会

◇議会運営委員会

24日◇市議会だより編集委員会

4月

9日・10日  
◇長崎県市議会議長会定期総会  
(西海市)

16日◇市議会だより編集委員会

22日◇長崎県市町村総合事務組合議  
会  
(長崎市)

23日・24日  
◇九州市議会議長会第5回理事  
会・定期総会 (佐賀市)

19日◇北松北部環境組合議会定例会  
・全員協議会  
(平戸市)

20日◇全員協議会

27日◇議会運営委員会



### 議案等の審議結果

条 例	<input type="radio"/> 松浦市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について	可決 (全員)
	<input type="radio"/> 松浦市地域振興基金条例の一部改正について	可決 (全員)
	<input type="radio"/> 松浦市定住促進住宅条例の一部改正について	可決 (全員)
	<input type="radio"/> 松浦市火災予防条例の一部改正について	可決 (全員)
	<input type="checkbox"/> 松浦市子ども・子育て支援対策地域協議会設置条例の一部改正について	可決 (全員)
	<input type="checkbox"/> 松浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 (全員)
	<input type="checkbox"/> 松浦市児童遊園設置条例の一部改正について	可決 (全員)
	<input type="radio"/> 松浦市上下水道事業運営審議会条例の制定について	可決 (全員)
予 算	◎令和7年度松浦市一般会計補正予算 (第9号)	可決 (全員)
	<input type="checkbox"/> 令和7年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算 (第4号)	可決 (全員)
	<input type="checkbox"/> 令和7年度松浦市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号)	可決 (全員)
	<input type="checkbox"/> 令和7年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算 (第4号)	可決 (全員)
	<input type="checkbox"/> 令和7年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算 (第4号)	可決 (全員)
	<input type="checkbox"/> 令和7年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算 (第4号)	可決 (全員)

# 議案等の審議結果(つづき)

予 算	<input type="radio"/> 令和7年度松浦市鉱害復旧灌漑用水施設維持管理事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	<input type="checkbox"/> 令和7年度松浦市介護保険特別会計補正予算(第5号)	可決(全員)
	<input type="radio"/> 令和7年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算(第5号)	可決(全員)
	<input type="checkbox"/> 令和7年度松浦市工業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	<input type="radio"/> 令和7年度松浦市水道事業会計補正予算(第4号)	可決(全員)
	<input type="radio"/> 令和7年度松浦市下水道事業会計補正予算(第5号)	可決(全員)
	<input checked="" type="radio"/> 令和8年度松浦市一般会計予算	可決(全員)
	<input type="checkbox"/> 令和8年度松浦市国民健康保険特別会計予算	可決(多数)
	<input type="checkbox"/> 令和8年度松浦市後期高齢者医療特別会計予算	可決(多数)
	<input type="checkbox"/> 令和8年度松浦市青島診療所事業特別会計予算	可決(多数)
	<input type="checkbox"/> 令和8年度松浦市福島診療所事業特別会計予算	可決(多数)
	<input type="checkbox"/> 令和8年度松浦市鷹島診療所事業特別会計予算	可決(多数)
	<input type="radio"/> 令和8年度松浦市鉱害復旧灌漑用水施設維持管理事業特別会計予算	可決(全員)
	<input type="checkbox"/> 令和8年度松浦市介護保険特別会計予算	可決(多数)
	<input type="radio"/> 令和8年度松浦市松浦魚市場特別会計予算	可決(全員)
	<input type="radio"/> 令和8年度松浦市臨海土地造成事業特別会計予算	可決(全員)
	<input type="checkbox"/> 令和8年度松浦市工業団地造成事業特別会計予算	可決(多数)
	<input type="radio"/> 令和8年度松浦市水道事業会計予算	可決(全員)
	<input type="radio"/> 令和8年度松浦市工業用水道事業会計予算	可決(全員)
	<input type="radio"/> 令和8年度松浦市下水道事業会計予算	可決(全員)
同意等	<input type="radio"/> 松浦市過疎地域持続的発展計画の策定について	可決(全員)
	※松浦市副市長の選任について	同意(全員)
議員提出議案	※松浦市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	可決(全員)

注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。

- ◎・・・ 各常任委員会へ分割付託      ※・・・ 委員会付託を省略し全員審査
- ・・・ 総務建設農水委員会      □・・・ 文教厚生産業委員会

## 編集委員のつづやき

風薫る5月となりました。皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から議会活動、本広報紙にご理解とご関心を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、今回から、新しい編集委員による議会広報紙の発行となります。「地域の皆さまのお声を大切に聴き、市政へ届け、議会の活動をお伝えする」ことをモットーに発信することを心掛けてまいります。

より読みやすく、なじみやすい広報紙としていきたいと考えています。また、皆さまのご意見も反映したいと思っておりますので、お近くの編集委員までご一報くださればと存じます。

皆さまのご期待を胸に、しっかりと努めてまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

市議会だより編集委員会

- 委員長 志水 周
- 副委員長 小川 晃弘
- 委員 福本 宗典
- 委員 村尾 一樹
- 委員 紙本 宏幸